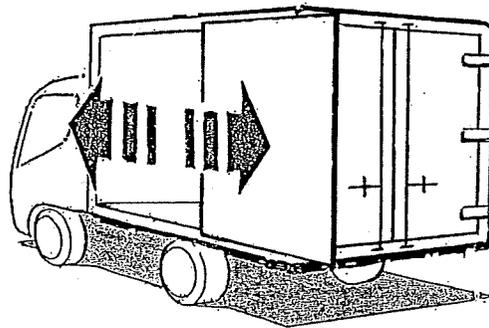


OVER SLIDE DOOR

オーバースライドドア



必ずお読み下さい

取扱説明書



株式
会社

北村製作所

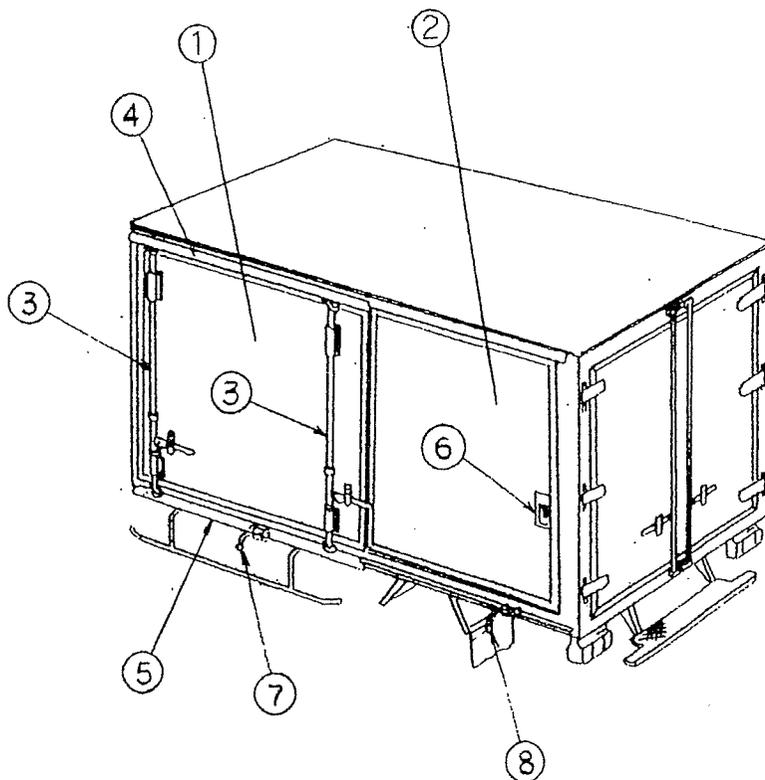
積荷の安全・確実な輸送には
正しく上手な取扱いが必要です。
ご使用前に本書を必ずお読みください。

- 本書はオーバースライドドア独自の装備に関し、正しい取り扱い方法のほか簡単な点検・手入れについて説明してありますので必ず実施してください。

— 目 次 —

各部の名称	2
必読 これだけは知っておきましょう	3
操作方法と注意事項	4~5
日常の点検と整備	6
定期交換部品・消耗部品	6

各部の名称



①	スライドドア(大扉)	⑤	大扉ロア走行ローラー Assy
②	スライドドア(小扉)	⑥	小扉ロックハンドルAssy
③	大扉ロックロッドAssy	⑦	大扉ストッパーAssy(前)
④	大扉アッパー走行ローラーBKT Assy	⑧	大扉ストッパーAssy(後)

必読 これだけは知っておきましょう

⚠注意 使用場所

- ・ 不整地や傾斜地での作業は行わないで下さい。
ドアが開かない場合があります。

⚠注意 車輛保持

- ・ 平坦な場所で作業し、駐車ブレーキを確実に作動してください。

⚠注意 開閉操作

- ・ 指を挟まないように注意してください。
- ・ ドアの開閉は静かに行ってください。乱暴な操作はオーバースライドのベアリングの耐久性を著しく低下させる原因となります。

⚠注意 積荷の積込み・固定

- ・ 荷物の積み降ろし作業は、必ずドアをドアストッパーで固定してください。
固定しないと風などにより不意にドアが動いたり、傾斜地では自然にドアが動く
ことがあり、けがをする恐れがあります。
- ・ フォークリフトによる荷役作業は、ドアの損傷がないよう十分に注意して作業を
行ってください。
- ・ 積荷はしっかりと固定してください。オーバースライドドアの大扉・小扉は荷崩れにより
ドアが開かない(特に小扉)恐れがあり又、ドアの損傷の原因となります。

⚠注意 開放走行の禁止

- ・ ドアを開放したままの状態での車輛の移動は行わないでください。
ドアの損傷や積荷の落下事故につながり、周辺の機器をこわしたり
他人に怪我を負わせる事故の原因となります。
- ・ 車輛を移動させる際は、ドアを必ずロックしてください。

操作手順・注意事項

図-1

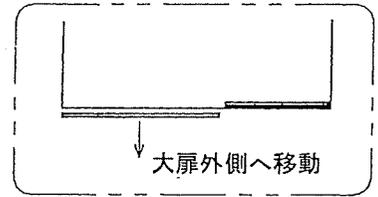
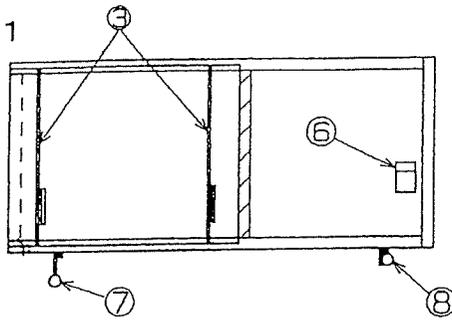
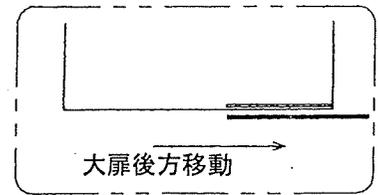
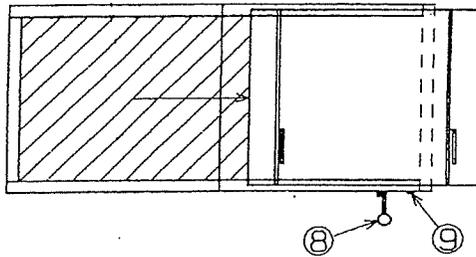


図-2 大扉後方移動



大扉前方移動

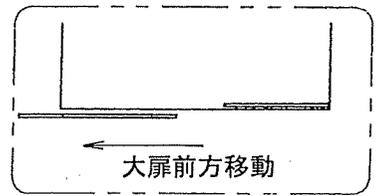
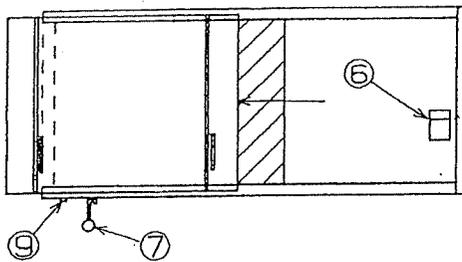
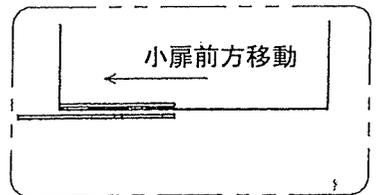
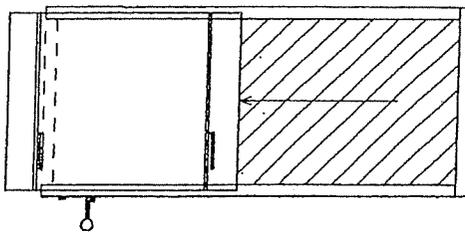
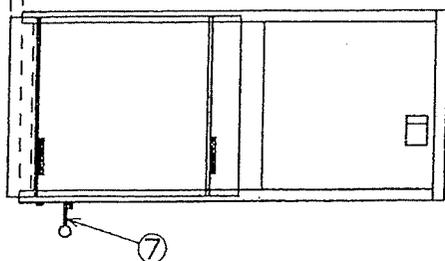


図-3 小扉前方移動

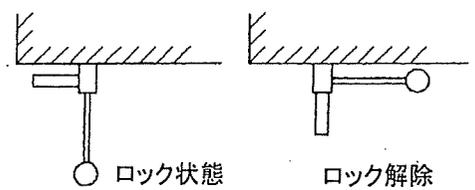


約100

図-4



⑦ ⑧ 扉ストッパー



	操作手順	注意事項
開 く 時	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大扉ロック③のロックを解除しハンドルを手前に引き、大扉を外側へ移動してください(図-1) 2. 大扉ストッパー⑦を解除します(図-1) 3. 大扉を前方又は後方へ静かに移動します(図-2) 4. 大扉がエンドストッパー⑨に当たり、止まった位置でストッパー⑦又は、⑧をロックし大扉を固定してください(図-2) 5. 後側を開く時は、大扉を前方に移動し固定した後に小扉のロック⑥を解除し、小扉を前方にスライドして下さい(図-3) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2本のロック③は、必ず90度回転させてください ・ 車輛の後方等のスペース・安全を必ず確認して下さい ・ 大扉移動時はストッパー⑦・⑧が解除状態にある事を確認して下さい。(ロック状態になっていると扉は途中で止まります) ・ 扉の移動は、必ず手を添えて静かに行ってください(必要以上の力で移動すると、扉の損傷や、思わぬ事故を引き起こしますので特に坂道等では充分注意して下さい)
閉 め る 時	<ol style="list-style-type: none"> 1. 後側が開いている時は、小扉を後方へスライドさせ閉めてください 2. 大扉ストッパー⑦又は⑧を解除し大扉を閉める状態(図-4)まで移動してください 3. 大扉前部ストッパー⑦をロック状態にし大扉を後方に移動します 4. 止まった位置で、ロック③のハンドルを回し、ロックすると大扉は格納されます 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小扉は、ワンタッチロック機構ですが、ロックの確認を必ず行ってください ・ 扉の格納の位置決めに必要な動作です。 ・ 扉の大きい車輛においては、片方ずつ行ってください。

日常の点検と整備

点検項目	点検内容
使用前点検	・ 使用する前には必ず開閉操作を行い、正常に機能するかどうかをお確かめください。
滑動部の給脂	・ 1週間に1度滑動部(ベアリング)へ給脂してください。
細部点検	・ 開閉ハンドルの動きはスムーズか ・ オーバースライドドアの動きはスムーズか ・ オーバースライドドアのベアリングやガススプリングに損傷はないか

定期交換部品・消耗部品

定期交換部品

架装物の機能・性能を確保し、安全にご使用いただくため、部品は定期的に交換してください。

部品名称	交換時期
ベアリング	1年
ガススプリング	1年

上記部品は消耗品です。損傷が無い場合でも、指定された交換時期に交換してください。

消耗部品

下記部品は使用頻度・経年変化等により消耗・劣化する部品です。点検時に摩耗や損傷状況を見て交換してください。

部 品 名 称	
・ ベアリング	・ 電球・ヒューズ
・ ガススプリング	・ ドアパッキン
・ コイルスプリング	・ コーシオンプレート

部品のご注文はボデーNo. をご連絡ください。

	No.T - -
	平成 年 月

本社・営業所

本 社 工 場 〒950-0322 新潟市両川1丁目3604番地12

支店・営業所

東 京 支 店 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2丁目3番13号
☎(03) 3518-8889 FAX(03) 5281-1020

大 阪 営 業 所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島6丁目7番3号
☎(06) 6305-7174 FAX(03) 6305-1340

名 古 屋 営 業 所 〒462-0816 名古屋市北区平安通1丁目5番地
☎(052) 915-3700 FAX(052) 915-3750

札 幌 営 業 所 〒003-0026 札幌市白石区本通17丁目南11-3
☎(011) 862-4708 FAX(011) 864-6933

仙 台 営 業 所 〒981-3135 仙台市泉区八乙女中央1丁目7番5号
☎(022) 771-7321 FAX(022) 771-7320

大 宮 営 業 所 〒330-0063 さいたま市浦和区高砂3丁目17番21号
☎(048) 845-7561 FAX(048) 839-7077

新 潟 営 業 所 〒950-0322 新潟市両川1丁目3604番地12
☎(025) 280-7111 FAX(025) 280-7110

北 陸 営 業 所 〒921-8142 石川県金沢市光が丘1丁目112番地
☎(076) 298-3375 FAX(076) 298-3450

インターネットホームページ <http://www.kitamurass.co.jp/>



車のなかに必ず保管して下さい

●インターネットホームページ <http://www.kitamurass.co.jp>



株式
会社

北村製作所

KITAMURA MANUFACTURING CO.,LTD.